

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F123310106657	設置等組織名	工学部工学科
大学名	日本福祉大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	愛知県	事業計画名	日本福祉大学工学部（仮称）開設事業

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	①令和5年6月 文部科学省事前相談 書類提出 ②令和5年8月 文部科学省事前相談 結果通知 ③令和5年8月 学生確保の見通しに関する調査委託業者の選定 ④令和5年9～10月 学生確保の見通しに関する調査内容の検討・準備 ⑤令和5年11～12月 学生確保の見通しに関する調査実施 ⑥令和6年4月 設置届出書類提出 ⑦令和6年4月以降 P R活動・学生募集活動開始	①令和5年6月 文部科学省事前相談 書類提出 ②令和5年8月 文部科学省事前相談 結果通知 ③令和5年8月 学生確保の見通しに関する調査委託業者の選定 ④令和5年9～10月 学生確保の見通しに関する調査内容の検討・準備 ⑤令和5年11～12月 学生確保の見通しに関する調査実施 ⑥令和6年4月 設置届出書類提出 ⑦令和6年4月以降 P R活動・学生募集活動開始	RS年度自己評価	【3】計画を十分に実施している。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2 準備し			○年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和6年4月 工学部工学科 学部の設置届出予定	令和6年4月 工学部工学科 学部の設置届出		
フェーズ1 継続し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ2	①令和7年1～3月 新学部設置に伴う施設改修		○年度自己評価	リストから選択してください。
開設又は定員増	令和7年4月 工学部工学科開設予定（入学定員100人、工学関係）			
フェーズ2 準備し			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3	①令和7年4月～ 新学部特設WEBサイトの開設 ②令和7年4月～ パンフレット発行による広報活動の強化 ③令和7年4月～ 対面形式広報活動（オープンキャンパス等）の強化 ④令和7年4月～ 産学官連携をテーマにしたイベント（シンポジウム、勉強会等）の開催 ⑤令和7年4月～ 正課授業におけるAI利活用の取組推進の強化 （Microsoft365、Google Workspace、Chat GPT等の利用）		○年度自己評価	リストから選択してください。
			○年度自己評価	リストから選択してください。
フェーズ3			○年度自己評価	リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	令和6年4月健康科学部福祉工学科学生募集停止の報告			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	日本福祉大学
-------------	-------	-----	--------

2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

- i)

学生募集停止中の大学

該当無し

☒ チェック
- ii)

学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し

☒ チェック
- iii)

「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し

☒ チェック
- iv)

設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し

☒ チェック
- v)

大学、短期大学及び高等専門学校の設置認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し

☒ チェック

3. 申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

- ①

高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

確認を受けている

☒ チェック

確認の対象に該当しない

☐ チェック
- ②

十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ③

産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の特組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ④

特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑤

計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑥

特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑦

社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑦

学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑧

入学定員が20名以上増加する計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑨

事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

計画通りに進んでいる。又は設置等を行った

☒ チェック
- ⑩

大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑪

フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑫

計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

計画通りに進んでいる

☒ チェック
- ⑬

選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した

☒ チェック

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	日本福祉大学
-------------	-------	-----	--------

⑨ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック
--------------------	--

4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

- ☒ チェック
- a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☐ チェック
- b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェック
- c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
2024年度からを目途に、愛知県による「デジタル人材の育成・確保を目的とした企業への長期インターンシップ、企業と連携したPBL」に参画し、学生に対して多様な学習機会・実践機会の提供を図ることにより、学生の課題解決力、企画立案力等の習得を支援する。 半田市内の専門学科を設置する高等学校と連携し、探求学習に対応するオンライン講義や出張講義を実施する。	半田市内の専門学科を設置する高等学校との連携については、2023年8月22日に半田商業高等学校3年の31名を対象に模擬講義を実施した。テーマは、「福祉の分野におけるAI技術の活用」とし、先進技術が福祉現場でどのように活用することができるのかを考える（探求する）機会提供につながった。	愛知県による「デジタル人材の育成・確保を目的とした企業への長期インターンシップ、企業と連携したPBL」については、2024年度の取組案内（リリース）を待っている。

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- ☐ チェック
- a. 入学者選抜における科目の見直し
- ☐ チェック
- b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☒ チェック
- c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☐ チェック
- d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ☒ チェック
- e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学ではすでに高等学校10校と教育連携・交流協定の締結や高大接続教育のプログラムを実施しており、相互の教育と学生・生徒の自主活動の質を高めるための取組みを推進するとともに、付属高等学校においては、毎年度、学部長による学部ガイダンスや正課授業に大学教員が出張講義を行うなど連携の取組みを推進している。また、社会人を対象とするリカレント教育事業部を設置し、「生涯、学ぶことで、自分を成長させ、社会で活躍し続ける人間でありたい人に多様に応える。」ことをテーマに、大学院、大学通信課程、専門学校、総合研修センターの4つの学びの形を提供している。留学生の受入れ強化に関しては、事務局に国際課を配置し、留学生のエンロールメント・マネジメントの強化を進めている。また、留学生の日本語・日本文化教育と地域社会の国際化を支援することを目的とした組織である日本語教育センターを2017年8月に設置し、本学で学ぶ留学生への支援強化を推進している。	大学全体としての地域の学校との連携について、2023年度には教育連携・交流協定を締結している学校への出張講義を積極的に実施。その結果、対応件数は昨年同期比で倍増以上の140件（2022年度：61件）に達した。また、新たに愛知県立岡崎東高等学校（2024年2月26日）と愛知県立蒲郡高等学校（2024年3月28日）と教育連携・交流協定を締結した。加えて、工学部の開設に係わっては、高大接続教育プログラムのうち、付属高等学校において、2023年5月13日に進路ガイダンス、5月22日に探求授業において「環境と共生した開発とは」をテーマにゲスト講義を実施した。また、リカレント教育事業においては、新たに現職教育の拠点として2024年4月、FUKUSHI ACADEMY（以下、アカデミー）を開設。ふくし社会の実現とふくし現場の課題解決にむけて、現職者向けのリスキリングプログラム等を開発・提供する体制を整えた。留学生の受入れ強化に向けて、合同説明会19回、個別ガイダンス19回に対応し、延べ820名の留学生と接触する機会を得た。また、オープンキャンパスや入試説明会には延べ236名が参加し、留学生受入状況の周知を図った。	

大学名	日本福祉大学
-----	--------

1. 本事業対象となる学部等の状況

＜合計＞

[illegible]

大学名	日本福祉大学
-----	--------

本事業対象となる学部等の個数	1
----------------	---

1. 本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)	改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
	学部学科名	工学部工学科

[illegible]

大学名	日本福祉大学
-----	--------

2. 理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	日本福祉大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,295	2,295																	
		入学者数	人	1,692	1,444																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	2,295	2,295																	
		入学者数(B)	人	1,692	1,444																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	0.74	0.63																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	10,030	10,060																	
		編入学定員	人	880	880																	
		在籍者数(D)	人	10,114	9,690																	
		編入学者数	人	959	738																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.01	0.96																	

4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定－1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		320,336	315,387	238,985	289,801	292,244	315,836													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均）(E)	千円	299,144
本事業による助成金の額(F)	千円	276,337
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	306,052

特記事項